

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	自主防災組織防災資機材整備事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	09	01	05	02	58
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	防災危機管理課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	山崎 英彦				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	自主防災組織	意図	自主防災組織の防災力の向上及び共助意識の醸成。
事業内容	自主防災組織が使用する防災資機材の購入に要する経費の一部を補助する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成24年度に制度を創設したところであるが、自主防災組織における資機材整備の希望は年々高まっている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
①	防災資機材整備事業補助金活用自主防災組織		28	39	組織	↑↑↑	
	②						
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	共助として地域の防災力の向上に寄与する。					目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成24年度の実績と各自主防災組織の要望を踏まえ、平成25年度は予算を200万円に増額したところである。 補助金活用団体も平成24年度の28団体から、平成25年度は39団体に増えており、今後も補助を継続する。	
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)			1,642,800	6,622,900			
事業費(b)(円)			925,000	1,732,000			
うち一般財源			925,000	302,000			
職員給与費(c)(円)			717,800	4,890,900			
人役・職員(人)			0.10	0.70			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H25)の改善計画	平成24年度には、要望額が予算を超過したことから、予算を100万から200万に増額し、希望団体への補助を実施する。	③取り組みの課題	平成25年度並みの申請であれば、全申請組織の希望通りの補助を実施することができるが、今後の自主防災組織の申請状況やニーズを見極める必要がある。
②今年度(H25)に実施した取り組み	平成25年度は39自主防災組織から申請があり、資機材整備に係る補助を実施したところである。	④今後の改善計画	自主防災組織の役割がさらに重要となることから、自主防災組織からのニーズに応じて、本事業の拡充について検討する。